

DRUG

INFORMATION

2004 No. 4

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室（内線2834）

平成16年3月5日発行

目 次

1. 医薬品の採用・採用中止について1
ー平成 16 年 3 月 4 日の薬事委員会結果ー
2. 新規院内処方医薬品について4

※ Drug Information は医学部ホームページの下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/drug-info/index.htm>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
yaku@cc.gifu-u.ac.jp

医薬品の採用・採用中止について

院内新規試用医薬品

医薬品名 (成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
塩酸モルヒネ錠 (塩酸モルヒネ)	10mg/錠	麻薬性鎮痛剤	大日本
ケテック錠 (テリスロマイシン)	300mg/錠	ケトライド系経口抗菌剤	藤沢
バリトゲンゾル (硫酸バリウム)	350mL/本	消化管 X 線造影剤	伏見
ラコール	200mL/袋	経腸栄養剤	大塚
エイゾプト点眼液 (布林ゾラミド)	[1%] 5mL/本	眼圧下降剤	アルコン
フルタイド 50 ディスカス (プロピオン酸フルチカゾン)	60 ブリスター/個	吸入ステロイド喘息治療剤	グラクソ・スミスクライン
プロトピック軟膏小児用 (タクロリムス水和物)	[0.03%] 5g/本	アトピー性皮膚炎治療剤	藤沢
セファメジン α キット (セファゾリンナトリウム水和物)	1g/キット	合成セファロスポリン製剤	藤沢
ハイソルブー D W タイプ	合剤	人工腎臓透析用粉末製剤	味の素ファルマ
プロジフ静注液 (ホスフルコナゾール)	200mg/2.5mL/V	深在性真菌症治療剤	ファイザー
ペガシス皮下注 (ペグインターフェロン α-2a)	180μg/1mL/V	インターフェロン製剤	中外
ランタス注カート (インスリングラルギン)	300 単位/3mL/筒	持効型溶解インスリン製剤	アベンティスファーマ

院内採用医薬品

医薬品名 (成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
マグコロール P (クエン酸マグネシウム)	100g/包 (在宅用パウチ入)	検査・手術前処置用下剤	堀井
イントロン A 注射用 (インターフェロン α-2b)	300 万国単位/V	インターフェロン製剤	シェリング・プラウ
シンビット注 (塩酸ニフェカラン)	50mg/V	不整脈治療剤	シェーリング
ノボラピッド注フレックスペン (インスリンアスパルト)	300 単位/3mL/本	超速効型インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ノボリン R 注フレックスペン (ヒトインスリン)	300 単位/3mL/本	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ノボリン N 注フレックスペン (ヒトインスリン)	300 単位/3mL/本	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ノボリン 30R 注フレックスペン (ヒトインスリン)	300 単位/3mL/本	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ

院内採用中止医薬品

医薬品名 (成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
インテバン SP カプセル (インドメタシン)	25mg/Cp	鎮痛・解熱・抗炎症剤	住友
疎経活血湯エキス顆粒	2.5g/包	漢方製剤	ツムラ
バルネチール錠 (スルトブリド)	200mg/錠	ベンザミド系抗精神病剤	大日本
ペリシット錠 (ニセリトロール)	250mg/錠	脂質代謝・末梢循環改善剤	三和化学
AKーソリタ・DL	合剤	人工腎臓用透析液	味の素ファルマ
MDS コーワ注 (デキストラン硫酸ナトリウム)	300mg/5mL/A	高トリグリセリド血症治療剤	興和
セファメジン αキット (セファゾリンナトリウム水和物)	2g/キット	合成セファロスポリン製剤	藤沢

※在庫がなくなり次第、処方中止とします。

院内販売中止医薬品

医薬品名 (成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
スミフォン末 (イソニアジド)	原末	抗結核化学療法剤	住友
ポララミン復効錠 (マレイン酸クロルフェニラミン)	6mg/錠	抗ヒスタミン剤	シェリング・プラウ
流動ペースト (硫酸バリウム)	[81.7%] 400mL/本	消化管 X 線造影剤	伏見
I.D.U.点眼液 (イドクスウリジン)	[0.1%] 5mL/本	ヘルペス性角膜炎化学療法剤	住友
テルモ生食	500mL/袋	生理食塩液	テルモ
結晶ペニシリンGカリウム (ベンジルペニシリンカリウム)	100 万単位/V	ペニシリン系製剤	萬有

※在庫がなくなり次第、処方中止とします。

製剤変更医薬品

医薬品名 (成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
ベリプラスト ⇒ ベリプラスト P コンビセット	3mL/組	生物学的組織接着剤	アベンティスペーリング
コートロシン Z 注 (酢酸テトラコサクチド)	2mL/V ⇒ 1mL/A	持続性合成 ACTH 製剤	第一

※旧製剤品の在庫がなくなり次第、変更とします。

名称変更医薬品

医薬品名 (成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
メイロンーP ⇒ メイロン	20mL/A	アシドーシス治療剤	大塚

※旧名称品の在庫がなくなり次第、変更とします。

院外採用医薬品(追加分)

医薬品名 (成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
塩酸モルヒネ錠 (塩酸モルヒネ)	10mg/錠	麻薬性鎮痛剤	大日本
ケテック錠 (テリスロマイシン)	300mg/錠	ケトライド系経口抗菌剤	藤沢
シロスレット内服ゼリー (シロスタゾール)	100mg/3g/包	抗血小板剤	ゼリア
ビ・シフロール錠 (塩酸 プラミペキソール水和物)	0.125mg, 0.5mg/錠	パーキンソン病治療剤	ベーリンガーインゲルハイム
マーズレン ES 錠	合剤	胃炎・潰瘍治療剤	ゼリア
小児用フルナーゼ点鼻液 (プロピオン酸フルチカゾン)	4mL/本	定量噴霧式鼻過敏症治療剤	グラクソ・スミスクライン
プロトピック軟膏小児用 (タクロリムス水和物)	[0.03%] 5g/本	アトピー性皮膚炎治療剤	藤沢
エクストラニール	1,500mL/袋	腹膜透析液	バクスター
ジェノトロピン注射用 (ソマトロピン)	12mg/筒	ヒト成長ホルモン製剤	ファイザー
ノボラピッド 30 ミックス注 (インスリンアスパルト)	300 単位/3mL/筒	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ノボラピッド 30 ミックス注フレックスペン (インスリンアスパルト)	300 単位/3mL/キット	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ランタス注カート (インスリングルルギン)	300 単位/3mL/筒	持効型溶解インスリン製剤	アベンティスファーマ
ランタス注キット (インスリングルルギン)	300 単位/3mL/キット	持効型溶解インスリン製剤	アベンティスファーマ

院外販売中止医薬品

医薬品名 (成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アルフィブレートカプセル (クロフィブラートアルミニウム)	250mg/Cp	クロフィブラート系脂質代謝改善剤	日研化学
グラウマリン点眼液 (カルバコール)	[0.75%] 5mL/本	緑内障治療剤	わかもと
ベコタイド 100 インヘラー (プロピオン酸ベクロメタゾン)	4mL/本	定量噴霧式喘息治療剤	グラクソ・スミスクライン
ロコルテンローション (ピパル酸フルメタゾン)	[0.02%] 5mL/本	外用副腎皮質ホルモン剤	ノバルティスファーマ
ノボレット 10R 注 (ヒトインスリン)	300 単位/3mL/筒	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ノボレット 30R 注 (ヒトインスリン)	300 単位/3mL/筒	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ

※3月31日付で処方中止とします。

後発医薬品への切り替え

医薬品名 (成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
イソジン液 ⇒ ネグミン液	250mL/本	外用殺菌消毒剤	明治 ⇒ メルク・ホエイ
消毒用エタノール ⇒ 消毒用エタノール液 IP	500mL/本	外用殺菌消毒剤	健栄
注射用エフオーワイ ⇒ レミナロン注射用	100mg/V	蛋白分解酵素阻害剤	小野 ⇒ 塩野義
注射用エフオーワイ ⇒ レミナロン注射用	500mg/V	蛋白分解酵素阻害剤	小野 ⇒ 塩野義
ジフルカン静注液 ⇒ ミコシスト静注液	200mg/100mL/V	深在性真菌症治療剤	ファイザー ⇒ 塩野義
点滴静注用ゾビラックス ⇒ 点滴静注用ビクロックス	250mg/10mL/A	抗ウイルス化学療法剤	GSK ⇒ 明治
塩酸バンコマイシン点滴静注用 ⇒ 点滴静注用バンコマイシン「MEEK」	0.5g/V	グリコペプチド系抗生物質製剤	塩野義 ⇒ 明治
静注用ホスミシン S ⇒ ホロサイル S 静注用	1g/V	ホスホマイシン系抗生物質製剤	明治 ⇒ 塩野義
静注用ホスミシン S ⇒ ホロサイル S 静注用	2g/V	ホスホマイシン系抗生物質製剤	明治 ⇒ 塩野義

※従来品の在庫がなくなり次第、変更とします。

新規院内処方医薬品について

＊塩酸モルヒネ Morphine Hydrochloride

【商】塩酸モルヒネ 大日本

内用：錠剤[㊞][㊟] 1錠中 10mg

【禁】重篤な呼吸抑制のある患者，気管支喘息発作中の患者，重篤な肝障害のある患者，慢性肺疾患に続発する心不全の患者，痙攣状態（てんかん重積症，破傷風，ストリキニーネ中毒）にある患者，急性アルコール中毒の患者，本剤の成分及びアヘンアルカロイドに対し過敏症の患者，出血性大腸炎の患者 細菌性下痢のある患者

【効】激しい疼痛時における鎮痛・鎮静，激しい咳嗽発作における鎮咳，激しい下痢症状の改善及び手術後等の腸管蠕動運動の抑制

【用】1回 5～10mg，1日 15mg を投与する。

【副】薬物依存，退薬症候（減量・中止），呼吸抑制，錯乱，譫妄，無気肺，気管支痙攣，喉頭浮腫，麻痺性イレウス，中毒性巨大結腸 不整脈，血圧変動，顔面潮紅，眠気，眩暈，不安，不穏，興奮，視調節障害，発汗，悪心，嘔吐，便秘，口渇，発疹，痒痒感，排尿障害，頭蓋内圧亢進

【妊】有益のみ 【授】授乳回避

【新・乳】慎重

【貯】遮光

＊テリスロマイシン Telithromycin

【商】ケテック Ketek 藤沢

内用：錠剤 1錠中 300mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者，シサブリド又はピモジドを投与中の患者

【効】扁桃炎，咽頭炎，咽喉頭炎，急性気管支炎，慢性呼吸器疾患の二次感染（慢性気管支炎，びまん性汎細気管支炎，気管支拡張症，肺気腫，気管支喘息等），肺炎，副鼻腔炎，歯周組織炎，歯冠周囲炎，顎炎

【用】1日 1回 600mg を，5日間投与する。歯周組織炎，歯冠周囲炎及び顎炎には，1日 1回 3日間投与とし，肺炎には 1日 1回最大 7日間まで投与できる。

【副】ショック，アナフィラキシー様症状，重症筋無力症の悪化 下痢，軟便，血中アミラー

ゼ上昇，腹部膨満，嘔気・悪心，嘔吐，腹痛，便秘，口内炎，食欲不振，肝機能異常，ALT・AST・ γ -GTP 上昇，ALP 上昇，好酸球増加，頭痛，めまい，不眠，傾眠，味覚異常，調節障害，痒痒，発疹，筋痙攣，低血圧，ほてり

【妊】未確立，有益のみ

【授】不可，やむを得ない場合は授乳回避

【小】未確立

＊硫酸バリウム Barium Sulfate

【商】バリトゲンゾル Barytogen Sol 伏見

内用・外用：液剤 100%

【禁】消化管の穿孔又はその疑いのある患者，消化管に急性出血のある患者，全身衰弱の強い患者

【効】消化管撮影

【用】検査部位及び検査方法に応じ，本剤をそのまま又は本剤に適量の水を加え適当な濃度とし，その適量を経口投与又は注腸する。〔食道〕経口，50～100%，10～150mL 〔胃・十二指腸〕経口（充盈，レリーフ，二重造影），30～100%，10～300mL 〔小腸〕経口，30～100%，100～300mL 〔大腸〕注腸，20～100%，200～2,000mL

【副】アナフィラキシー様症状 排便困難，便秘，一過性の下痢・腹痛，肛門部痛・出血，悪心，嘔吐，発疹，痒痒感，蕁麻疹

【妊】未確立，有益のみ

【未・新・乳・幼・小】未確立，有益のみ

【商】ラコール Racol 大塚

内用：液剤 1袋（200mL，200kcal）中乳カゼイン 6.8g，分離大豆蛋白質 3.332g，トリカプリリン 1.5g，ダイズ油 1.398g，シソ油 0.36g，パーム油 0.668g，マルトデキストリン 29.716g，精製白糖 2.6g，クエン酸ナトリウム 414mg，炭酸カリウム 395.4mg，塩化マグネシウム 311mg，塩化カルシウム 235.2mg，クエン酸三カリウム 102.54mg，クエン酸カルシウム 79.06mg，リン酸二水素カリウム 19.288mg，塩化カリウム 12.06mg，グルコン酸第一鉄 6.576mg，硫酸亜鉛 3.868mg，硫酸マンガン 984.2 μ g，硫酸銅 786.2 μ g，ビタミン A 油

(1g 中 20 万 IU 含有) 2.07mg, コレカルシフェロール 0.68μg, 酢酸トコフェロール 650μg, フィトナジオン 125μg, 塩酸チアミン 966μg, リン酸リボフラビンナトリウム 622.8μg, 塩酸ピリドキシン 911.8μg, シアノコバラミン 0.64μg, アスコルビン酸ナトリウム 63.2mg, ニコチン酸アミド 5mg, パントテン酸カルシウム 2.082mg, 葉酸 75μg, ビオチン 7.72μg

【禁】 イレウスのある患者、腸管の機能が残存していない患者、高度の肝・腎障害のある患者、重症糖尿病等の糖代謝異常のある患者、先天性アミノ酸代謝異常の患者、牛乳蛋白アレルギーを有する患者

【効】 手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用する。

【用】 標準量として 1 日 1,200mL～2,000mL (1,200～2,000kcal) を経鼻チューブ、胃瘻又は腸瘻より胃、十二指腸又は空腸に 1 日 12～24 時間かけて投与する。投与速度は 75～125mL/時とする。経口摂取可能な場合は 1 日 1 回又は数回に分割投与することもできる。投与開始時は、1 日 400mL (400kcal) を水で希釈 (0.5kcal/mL 程度) して、低速度 (約 100mL/時以下) で投与し、臨床症状に注意しながら増量して 3～7 日で標準量に達するようにする。

【副】 下痢、腹部膨満感、腹痛、悪心、嘔吐、肝機能検査値異常、皮疹、蕁麻疹、発熱、頭痛、血中 AST・ALT・Al-P・LDH・γ-GTP・LAP・尿素窒素・中性脂肪・K・クレアチニン・Ca・Cl 上昇、血中 Na・Cl・Ca・総コレステロール・遊離脂肪酸・総ビリルビン・尿酸・総蛋白・アルブミン低下、血糖値上昇・低下、血小板数・白血球数増加、赤血球数減少、血色素量・ヘマトクリット値低下、尿中 Na 低下、蛋白定性・ウロビリノーゲン定性・ケトン体定性・尿糖定性の陽性、尿中 Na 上昇、尿中 Cl・Ca・K 低下・上昇、尿 pH 上昇

【妊】 3 ヶ月以内：注意

【未・新】 未確立

＊ブリンゾラミド Brinzolamide

【商】 エイゾプト Azopt アルコン

外用：点眼剤 1% (5mL)

【禁】 本剤の成分に対して過敏症の既往歴のあ

る患者、重篤な腎障害のある患者

【効】 次の疾患で、他の緑内障治療薬が効果不十分又は使用できない場合：緑内障、高眼圧症

【用】 1 回 1 滴、1 日 2 回点眼する。十分な効果が得られない場合には 1 回 1 滴、1 日 3 回点眼することができる。

【副】 霧視、眼瞼炎、乾燥感、異物感、充血、眼脂、不快感、眼痛、掻痒感、結膜炎、疲れ目、眼瞼辺縁痂皮、角膜炎、角膜症、べとつき感、流涙、角結膜炎、複視、下痢、口内乾燥、消化不良、嘔気、脱毛、皮膚炎、蕁麻疹、味覚倒錯、頭痛、鼻炎、胸部痛、めまい、呼吸困難、咽頭炎、緊張亢進、腎疼痛

【妊】 未確立、有益のみ

【授】 未確立、授乳回避

【未・新・乳・幼・小】 未確立

＊プロピオン酸フルチカゾン

Fluticasone Propionate

【商】 フルタイドディスク Flutide Diskus

グラクソ・スミスクライン

外用：吸入剤

1 個 60 ブリスター (1 ブリスター中 50μg)

【禁】 有効な抗菌剤の存在しない感染症・深在性真菌症の患者、本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者 結核性疾患・呼吸器感染症の患者、高血圧の患者

【効】 気管支喘息

【用】 成人には 1 回 100μg を 1 日 2 回吸入する。1 日の最大投与量は 800μg を限度とする。小児には 1 回 50μg を 1 日 2 回吸入する。1 日の最大投与量は 200μg を限度とする。

【副】 アナフィラキシー様症状 発疹、蕁麻疹、咽喉頭不快感・むせ・疼痛・刺激感・違和感、口腔・呼吸器カンジダ症、嗄声、咳、口内乾燥、感染症、悪心、腹痛、鼻炎、胸痛、浮腫、気管支攣縮

【妊】 有益のみ

【未・新・乳・幼・小】 長期間・大量投与注意、4 歳以下：未確立

＊タクロリムス水和物 Tacrolimus Hydrate

【商】 プロトピック Protopic 藤沢

外用：軟膏剤^㉔ 0.03% (5g)

【警】 ○本剤の使用は、アトピー性皮膚炎の治

療法に精通している医師のもとで行うこと。
○マウス塗布癌原性試験において、高い血中濃度の持続に基づくリンパ腫の増加が認められている。また、本剤との関連性は明らかではないが、外国においてリンパ腫、皮膚癌の発現が報告されている。本剤の使用にあたっては、これらの情報を患者又は代諾者に対して説明し、理解したことを確認した上で使用すること。○潰瘍、明らかに局面を形成している糜爛に使用する場合には、血中濃度が高くなり、腎障害等の副作用が発現する可能性があるため、あらかじめ処置を行い、潰瘍、明らかに局面を形成している糜爛の改善を確認した後、本剤の使用を開始すること。

【禁】潰瘍・明らかに局面を形成している糜爛への使用、高度の腎障害・高度の高 K 血症のある患者、魚鱗癬様紅皮症を呈する疾患（Netherton 症候群等）の患者、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人、低出生体重児、新生児、乳児又は 2 歳未満の幼児、本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、PUVA 療法等の紫外線療法を実施中の患者 皮膚感染症を伴う患者

【効】アトピー性皮膚炎

【用】小児には 1 日 1～2 回、適量を患部に塗布する。1 回あたりの塗布量は 5g までとする。

【副】皮膚の熱感・疼痛・痒感、皮膚の細菌性感染症・ウイルス性感染症、皮膚の真菌性感染症、瘡瘍、瘡瘍様皮疹、丘疹、皮膚乾燥、刺激性接触皮膚炎、上気道炎、リンパ節炎、頭痛、頭重感

【妊】不可 【授】授乳回避

【未・新・乳・幼】2 歳未満：未確立、不可

＊セファゾリンナトリウム水和物

Cefazolin Sodium Hydrate

【商】セファメジンα Cefamezin α 藤沢
注射：1 キット中 1g

【禁】本剤の成分によるショックの既往歴のある患者 本剤の成分又はセフェム系抗生物質に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】敗血症、亜急性細菌性心内膜炎、毛嚢炎、瘰癧、癰腫症、粉瘤、カルブンケル、丹毒、膿瘍、潰瘍、フレグモーネ、術後創感染症、創傷感染症、火傷、熱傷、褥瘡、上気道感染症

（咽・喉頭炎、扁桃炎）、耳癰、鼻癰、麦粒腫、全眼球炎、乳腺炎、リンパ管（節）炎、骨髓炎、関節炎、急・慢性気管支炎、気管支拡張症、気管支肺炎、肺炎、慢性呼吸器疾患時の二次感染、肺化膿症（肺膿瘍）、膿胸、胸膜炎、胆管炎、胆嚢炎、腹膜炎、腎盂腎炎、腎盂炎、膀胱炎、尿道炎、バルトリン腺炎（膿瘍）、子宮頸管炎、子宮内膜炎、子宮旁結合組織炎、子宮内感染、骨盤腹膜炎、産褥熱、中耳炎、副鼻腔炎、耳下腺炎

【用】1 日成人には 1g、小児には 20～40mg/kg を 2 回に分けて点滴静注する。症状及び感染菌の感受性から効果不十分と判断される場合には、1 日成人 1.5～3g を、小児には 50mg/kg を 3 回に分割投与する。症状が特に重篤な場合には、1 日成人 5g、小児には 100mg/kg までを分割投与することができる。

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、汎血球減少、無顆粒球症、溶血性貧血、血小板減少、肝障害、急性腎不全、偽膜性大腸炎、Stevens-Johnson 症候群、Lyell 症候群、間質性肺炎、PIE 症候群、痙攣 発疹、蕁麻疹、紅斑、痒疹、発熱、浮腫、顆粒球減少、好酸球增多、BUN 上昇、クレアチニン上昇、悪心、嘔吐、食欲不振、下痢、口内炎、カンジダ症、ビタミン K・ビタミン B 群欠乏症状、頭痛、めまい、全身倦怠感

【妊】未確立、有益のみ

【授】回避、やむを得ない場合は授乳回避

【未・新】未確立

【商】ハイソルブ D Hydorb-D

味の素ファルマ

注射：液剤 A-1 剤：1 包 2,377g、A-2 剤：1 包 315g、B 剤：1 包 672g

【効】慢性腎不全における透析型人工腎臓の灌流液として用いる。（無糖の透析液では、血糖値管理の困難な患者及び他の重炭酸型透析液では、高 K 血症、高 Mg 血症の改善が不十分な場合、又は高 Ca 血症を起こすおそれのある場合に用いる。）

【用】用時、A-1 剤 1 包と A-2 剤 1 包を精製水に溶かして 9L の水溶液（A 液）とする。B 剤 1 包を精製水に溶かして 11.5L の水溶液（B 液）とする。B 液 1 容に対し水 26 容を加えて希釈し、

この希釈液 34 容に対して A 液 1 容を加えて希釈して用いる。用量は、透析時間により異なるが、灌流液として 150～300L を用いる。

【副】ショック、血圧低下、血圧上昇、低 K 血症、低血糖、高血糖、骨粗鬆症、骨軟化症、線維性骨炎、異所性石灰沈着症、AST・ALT・LDH 上昇、口渇、不均衡症候群

【妊】未確立、有益のみ

【未・新・乳・幼・小】未確立

＊ホスフルコナゾール Fosfluconazole

【商】プロジフ Prodif ファイザー

注射：液剤

1 瓶（2.5mL）中フルコナゾールとして 200mg

【禁】トリアゾラム・シサプリド・テルフェナジンを投与中の患者、本剤の成分又はフルコナゾールに対して過敏症の既往歴のある患者、妊婦又は妊娠している可能性のある患者

【効】真菌血症、呼吸器真菌症、真菌腹膜炎、消化管真菌症、尿路真菌症、真菌髄膜炎

【用】○カンジダ症：1 日 1 回フルコナゾールとして 50～100mg を維持用量として静注する。ただし、初日、2 日目は維持用量の倍量として、フルコナゾールとして 100～200mg を投与する。○クリプトコッカス症：1 日 1 回フルコナゾールとして 50～200mg を維持用量として静注する。ただし、初日、2 日目は維持用量の倍量として、フルコナゾールとして 100～400mg を投与する。重症又は難治性真菌感染症の場合には、フルコナゾールとして 400mg まで維持用量を増量できる。ただし、初日、2 日目は維持用量の倍量として、フルコナゾールとして 800mg まで投与できる。

【副】ショック、アナフィラキシー反応、Stevens-Johnson 症候群、Lyell 症候群、無顆粒球症、汎血球減少症、血小板減少、白血球減少、貧血、急性腎不全、黄疸、肝炎、胆汁うっ滞性肝炎、肝壊死、肝不全、錯乱、見当識障害、痙攣、高 K 血症、心室頻拍（Torsades de pointes を含む）、QT 延長、心室細動、房室ブロック、徐脈、間質性肺炎、偽膜性大腸炎 ALT・ビリルビン増加、黄疸、肝機能検査異常、肝障害、Al-P・AST・γ-GTP・LDH 増加、脱毛、発疹、剥脱性皮膚炎、しゃっくり、腹部不快感、消化不良、鼓腸放屁、食欲不振、腹痛、嘔気、嘔吐、

下痢、胃腸出血、口内乾燥、粘膜疹、頭痛、手指のこわばり、浮動性めまい、不眠症、錯感覚、BUN 増加、クレアチニン増加、乏尿、腎機能障害、急性腎不全悪化、腎クレアチニン・クリアランス減少、高コレステロール血症、高トリグリセリド血症、高血糖、低 K 血症、低 Ca 血症、好酸球増加、好中球減少、貧血、高血圧、静脈炎、心雑音、低血圧、左心室不全、鼻炎、鼻出血、関節痛、筋痛、背部痛、熱感、味覚倒錯、発熱、浮腫、倦怠感、血管痛、末梢性浮腫、細菌感染、頭痛、投与部位感染、炎症、結膜炎

【妊】不可 【授】授乳回避

【未・新・乳・幼・小】未確立

【貯】2～8℃

＊ペグインターフェロン α-2a

Peginterferon Alfa-2a

【商】ペガシス Pegasys 中外

注射：液剤[㊞] 1 瓶（1mL）中 180μg

【警】○本剤の投与により間質性肺炎、自殺企図があらわれることがあるので、「使用上の注意」に十分留意し、患者に対し副作用発現の可能性について十分説明すること。○リバビリン製剤との併用療法については、日本人における有効性・安全性が確立していないため、併用しないこと。

【禁】小柴胡湯を投与中の患者、自己免疫性肝炎の患者、本剤の成分又は他のインターフェロン製剤に対し過敏症の既往歴のある患者、低出生体重児、新生児、乳児、3 歳未満の幼児、ワクチン等生物学的製剤に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】C 型慢性肝炎におけるウイルス血症の改善

【用】使用にあたっては、HCV-RNA が陽性であることを確認したうえで行う。1 回 180μg を週 1 回、皮下に投与する。

【副】間質性肺炎、肺浸潤、呼吸困難、うつ病、自殺念慮、自殺企図、汎血球減少、無顆粒球症、白血球減少、血小板減少、肝炎の増悪、肝機能障害、自己免疫現象、心筋症、心不全、狭心症、不整脈、心筋梗塞、心内膜炎、敗血症、脳出血、脳梗塞、肺塞栓症、意識障害、痙攣、てんかん発作、見当識障害、昏睡、譫妄、錯乱、幻覚、痴呆様症状、糖尿病、甲状腺機能異常、乾癬、急性腎不全、ネフローゼ症候群、消化管出血、

**消化性潰瘍，虚血性大腸炎，ショック，網膜症
溶血性尿毒症症候群** 脱力，頭痛，発熱，倦怠感，関節痛，筋痛，悪寒，肺炎，腹痛，食欲減退，下痢・軟便，便秘，嘔気，嘔吐，口内炎，口腔内潰瘍形成，腹部膨満，歯肉出血，歯痛，胃炎，消化不良，味覚異常，歯肉炎，口渇，歯周炎，口内乾燥，舌炎，口唇炎，筋炎，背部痛，関節硬直，筋痙攣，頸部痛，末梢性ニューロパシー，記憶障害，振戦，性欲減退，神経過敏，攻撃性，集中力低下，睡眠障害，めまい，感覚減退，易刺激性，不安，気分変動，健忘，顔面神経障害，異常感覚，光線過敏症，脱毛症，痒痒症，皮膚炎，発疹，白癬，紅斑，蕁麻疹，皮膚乾燥，多汗，寝汗，好中球・血小板・白血球・リンパ球減少，貧血，好酸球・リンパ球増多，PTT延長，高血圧，胸痛，動悸，潮紅，胆管炎，ALT・AST・ γ -GTP上昇，LDH・Al-P上昇，脂肪肝，蛋白尿・血尿陽性，頻尿，BUN上昇，咳嗽，咽喉痛，鼻漏，鼻・咽頭痛，喀痰，鼻出血，呼吸困難，嗄声，鼻閉，くしゃみ，扁桃炎，角膜潰瘍，霧視，眼痛，網膜の微小循環障害，眼の異常感，眼の炎症，無力症，注射部位反応，トリグリセライド上昇，感染症の誘発・増悪，疼痛，電解質異常，CRP上昇，体重減少，TSH上昇・減少，血糖上昇，熱感，冷感，疲労，血中アルブミン減少， T_4 上昇・減少，難聴，浮腫， T_3 上昇，痔核，血清総蛋白減少，耳鳴，リンパ節症，勃起機能不全，月経異常，サルコイドーシス

【妊】有益のみ 【授】授乳回避

【未・新・乳・幼】3歳未満：不可

【幼・小】3歳以上：未確立

【貯】2～8℃

*インスリングルルギン Insulin Glargine

【商】**ランタス** Lantus アベンティスファーマ
注射：液剤[㊟] 1筒（3mL）中300単位

【禁】**低血糖症状を呈している患者，本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者**

【効】インスリン療法が適応となる糖尿病

【用】初期は1日1回4～20単位をペン型注入器を用いて皮下注するが，ときに他のインスリン製剤を併用することがある。注射時刻は朝食前又は就寝前のいずれでもよいが，毎日一定とする。その他のインスリン製剤の投与量を含め

た維持量は，1日4～80単位である。

【副】**低血糖，ショック，アナフィラキシー様**

症状 糖尿病網膜症の顕在化・増悪，注射部位の発赤・蕁麻疹・腫脹・炎症・リポディストロフィー，注射部位の浮腫・疼痛・痒痒感・硬結，Na貯留

【妊】未確立，インスリン需要量変化注意

【授】インスリン需要量変化注意

【小】未確立

【貯】2～8℃，遮光